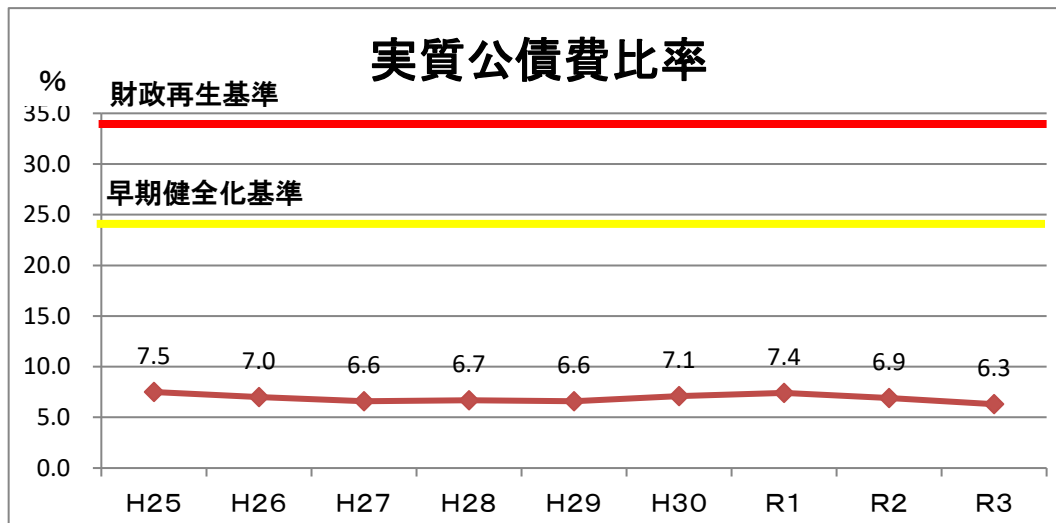


■比率の推移

【実質赤字比率、連結実質赤字比率】なし

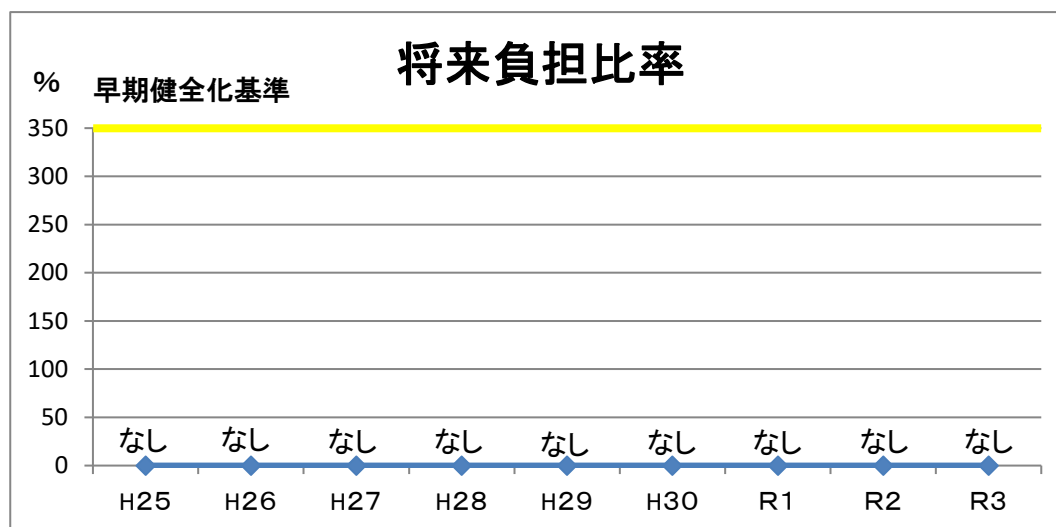
【実質公債費比率】 6.3% (前年度比0.6ポイント減)



主な増減要因

一般財源(地方交付税)の大幅な増加

【将来負担比率】 -% (前年度と同様)



【資金不足比率】なし